

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場「えんくわ」。初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれている「えんくわ」。



鳴立庵大使「えんくわくん」

今月の俳句

枯蔓となりて名前を失へり

神奈川県横浜市 大坪 正美

今月の短歌

不思議だね君が隣りにいるときは
虹をたやすく見つけてしまう

京都府京都市 小池 ひろみ

季題は「枯蔓」。さまざま蔓類のどれもが、冬になれば葉や実を落として、ただの「蔓」となる。よく見ればそれぞれの特徴が無くはないのであるが、総じてくるくる縮めるばかりで、言はば似たりよったりとも言える。一句はその辺りの気分を「名前を失へり」と叙した。つまり、一つ一つの植物を弁別する「名前」が意味をなさないということだ。やゝ大袈裟に表現した処が面白かった。「写生」には細かい違いに注目するものもあれば、ザックリと共通点を指摘するものもある。

(鳴立庵庵主 本井 英)

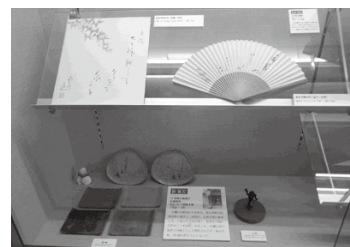
この一首を読んだ途端に、「虹の彼方に」のメロディーが脳裏に浮かびました。ミュージカル「オズの魔法使い」でジューディ・ガーランドが歌った名曲です。その歌詞に、虹の彼方とは「青い鳥が飛ぶところ」、そして「あなたが私を見つげるところ」という件(くだり)があります。つまり、そこは二人が幸せになれるところなのです。さて掲歌を読んでみましょう。「君」は「私」を見つげ、隣にいます。すでに二人はとても幸せなのです。「虹」とは幸せの入口。幸せな「私」がたやすく虹を見つげるのは当然なのです。素敵な相聞歌です。

(西行祭選者 柳 宣宏)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

費用 持ち物 申込み 締切り 問合せ 定員 対象 講師

講座名	日程	時間	備考
絨毯展示販売	6月7日(水)~11日(日)	11:00~16:00	遊牧民のキリム&部族絨毯展示 費入庵料
寄席	6月10日(土)	開場13:00 開演13:30	演目:大山詣り(上)・鼓の滝・へっつい幽霊 演者:三遊亭 恋生・桂 美団治・桂 三十助 定15人 費800円(入庵料込)
伝筆	6月18日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
座禅	6月24日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
虎が雨句会	6月25日(日)	10:00~14:00	本井庵主が主催する虎御前供養句会。句作に参加しませんか? 費2,000円(入庵料込)
花の会	6月28日(水)	14:00~16:00	ひまわりを使った絵画風アレンジ 講府川 葉月氏 定15人 費2,500円(入庵料込) 持はさみ、タオル、持ち帰り袋
茶と遊ぶ	7月1日(土)	10:00~正午	アイスティーの作り方、楽しみ方(紅茶編) 講高野 幸代氏 定10人 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)



入口展示の様子
鳴立庵



座禅の様子



茶と遊ぶの様子